

浜名湖ネイチャーズ アマモプロジェクト

1. 浜名湖を守る
無人島の掃除

2. 浜名湖を豊かにする
アマモの育成

3. 浜名湖を未来に繋ぐ
子供の湖の体験教室



Hamanako Natures
浜名湖ネイチャーズ

浜名湖 弁天島



アマモの種

アマモの現状

10年前まで浜名湖全体で800ha以上あったアマモ場が現在では1ha以下に減少しており、弁天島のアマモ場は数少ない貴重なアマモ場の一つです。
アマモ場は海のインフラストラクチャー（基盤になる場所）と呼ばれ、さまざまな水棲生物を育む“海のゆりかご”の役割をしています。

貴重なアマモ群集

日本全域でアマモ場は著しく減少しているなかで、いかり瀬のアマモ場は生態系を保っています。それは、地球の温暖化や浜名湖の環境変化に耐性を持っている可能性があり、研究の対象にもなっています。

アマモの1年（地域により、違いあり）

3月

成長した苗の移植



新芽の観察

11月

苗作り（種まき）



4月

アマモ場を観察



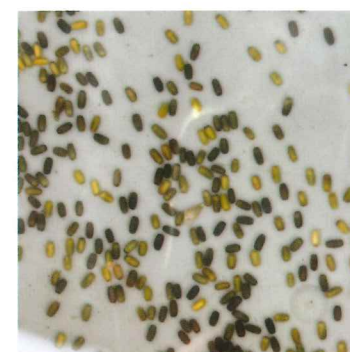
アマモの花は5月頃
花が咲きます

5～6月
花枝という種を
採取・熟成



海底にて
種の熟成

9月
種の選別



冷蔵庫での
種の休眠

葉↓



地下茎と根→

アマモの葉は草食魚のエサにもなりますが、他にも光合成を行ったり、小型の巻き貝・ワレカラなどの甲殻類の住みかにもなります。
さらにそれを食べる小型生物が住み、それを狙う魚や鳥が集まります。

また、アマモがあることで海水の流れが穏やかになり稚魚や小魚にとって身を隠すことができ、天敵に見つかりにくくなります。

卵から生まれ、ある程度に成長するまでの場所であることから『海のゆりかご』と呼ばれています。

